

令和7年度指定管理者運営状況検証シート

1 施設名等

令和8年3月31日現在

施設名 (設置年月日)	えひめ青少年ふれあいセンター (昭和57年4月1日)	所在地 電話番号 HP	愛媛県松山市上野町甲650番地 089-963-3166 https://www.i-fureai.jp/
県所管課	観光スポーツ文化局まなび推進課	指定管理者の名称	株式会社レスパスコーポレーション
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)	利用料金制	○ありなし

2 施設の概要と指定管理者が行う業務等

設置目的	共同生活を通じ心身ともに健全な青少年を育成し、家族、青少年等の触れ合いを図り、及び県民の生涯にわたる学習活動を支援するために必要な青少年の研修の実施並びに家族、青少年等の交流の機会及び県民の生涯にわたる学習活動の場の提供	施設の外観
施設内容	管理研修棟(オリエンテーション室、音楽芸能室、研修室1～3、図書室、集会室、創作活動室、講師控室、作法室)、体育館、宿泊棟(宿泊室、浴室、食堂、ロビー、談話コーナー)	
指定管理者が行う業務	○ふれあいセンターの事業の実施に関する業務(青少年の団体宿泊訓練、青少年の教育に必要な研修等) ○ふれあいセンターの利用の許可に関する業務 ○ふれあいセンターの利用に係る料金の収受に関する業務 ○ふれあいセンターの利用の促進に関する業務 ○ふれあいセンターの施設、附属設備及び備品の維持管理に関する業務 ○その他知事が定める業務	
施設の管理体制	生涯学習センター 所長 (統括責任者) 統括管理課長 事業推進課長 まなび支援課長 ふれあい支援課長 経理主任 施設維持管理担当 D×推進・広報担当 展示案内係長 YuYu カレッジ担当 コミカレ担当 舞台操作技術者(兼) 貸館担当 YuYu カレッジ担当 コミカレ担当 青少年ふれあいセンター ふれあい支援員 研修支援員 舎監(2人) 給食責任者 給食調理員(3人) 指定管理本部 本部長 営業推進部長 取締役 事業部長 広報企画係 施設管理係 料飲管理係 経理係 総務・人事係	

3 検証のための指標の推移

(1)利用者数

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
年間利用者数	6,329 人	12,702 人	8,518 人	16,140 人	21,689 人

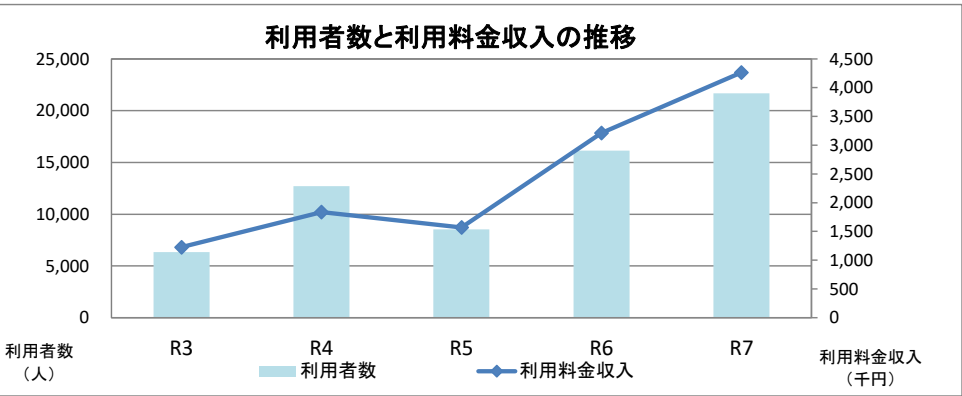
(2)収支状況※1

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収 入 (A)	186,644 千円	197,444 千円	216,757 千円	245,407 千円	260,653 千円
委託料 ※2	163,371 千円	163,372 千円	183,632 千円	200,280 千円	199,103 千円
委託料(補正額) ※3	2,683 千円	3,726 千円	0 千円	0 千円	0 千円
利用料金収入(合計)	11,624 千円	15,399 千円	17,111 千円	17,353 千円	20,210 千円
利用料金収入(青少年ふれあいセンター)	1,227 千円	1,835 千円	1,570 千円	3,214 千円	4,265 千円
利用料金収入(生涯学習センター)	10,397 千円	13,564 千円	15,541 千円	14,139 千円	15,945 千円
その他収入	8,966 千円	14,947 千円	16,014 千円	27,774 千円	41,340 千円
支 出 (B)	186,644 千円	197,444 千円	212,673 千円	238,508 千円	260,641 千円
事業費	21,637 千円	24,229 千円	29,064 千円	34,495 千円	46,452 千円
維持管理費	45,927 千円	49,437 千円	59,700 千円	69,952 千円	65,101 千円
人件費	77,584 千円	82,857 千円	79,877 千円	83,550 千円	84,500 千円
その他支出	41,496 千円	40,921 千円	44,032 千円	50,511 千円	64,588 千円
収 入 (A) - 支 出 (B)	0 千円	0 千円	4,084 千円	6,899 千円	12 千円

(※1) 表中の各数値について、一体的管理を行うえひめ青少年ふれあいセンターと合わせた金額を記載

(※2) 施設の修繕に係る経費を除く

(※3) 新型コロナウイルスの影響等により、補正予算で増額した委託料を記載



(※4) 収支状況に大きく影響を及ぼした要因があった場合、その内容

青少年ふれあいセンターでは、令和7年度は団体の日帰り利用者数や宿泊利用者が増加したことに伴い、施設利用料をはじめ利用料金収入が対前年度比が32.7%増加した。

4 管理運営の評価

(1)提供サービスや利便性の向上のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評 価
○申請書が提出された時点で、速やかに申請内容を精査して宿泊人数、付帯施設の使用の有無、食事数、入浴時間等各団体間の調整を行い、受け入れた。 ○オリエンテーションや代表者との打ち合わせを通じて施設の役割、目的等を説明し、円滑な施設運営を行った。また、朝・夕のつどいを通じて宿泊団体の交流や親睦を図り、研修指導員として適切な生活指導を行った。 ○小学生親子を対象とした自主事業を3回実施した。44家族118名の参加があり、学校や家庭では体験できない自然体験・創作活動を子供たちに提供することができた。	小学生親子を対象とした自主事業は、R6年度は1回開催されたが、R7年度は3回実施され、アンケートからは満足された様子が伺えた。食事については、グループ企業に飲食部門を有する強みを活かしており、接客についても利用者の要望やアンケート調査をもとに、よりよいサービス提供に努めており、高い評価を得ている。	A

(2)施設の適正な維持管理のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評 価
○施設備品の購入や修繕に対しては、利用者の安全・安心を最優先に、緊急性、重要性を踏まえた優先順位を設定し、計画的かつ効率的な購入・修繕に努めた。 ○研修室のテーブル・椅子等の更新を実施して利用者から好評を得た。 ○管理研修棟集会室に新たにエアコンを設置して快適で安心して利用できる環境作りに努めた。	施設の老朽化が進行する中であって、不具合が発生した場合の報告や修繕を適時実施しており、利用者の安全性・快適性の確保に大きく貢献している。全体的に空調設備の劣化が進む中、管理研修棟集会室の機器入替を行い快適な環境を整えるなど、指定管理者として可能な範囲でできる限りの対応を行っている。	A

(3) 利用者からの評価と、意見を反映させるための取組み

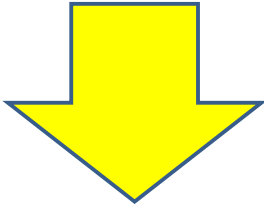
指定管理者の自己検証		県施設所管課の検証	
○宿泊団体からのアンケート回収率は100%を維持した。なお、要望事項に対しては、可能な限り対応及び改善に努めた。 ○施設清掃や美化、職員対応については常に高評価を頂いた。 ○食事提供については、予算を増額した特別食メニューを推奨して顧客満足度の向上に努めた。		職員の対応については好評であり、食事に関しても、スポーツ団体に対して特別食の提供の推奨をおこなったり、アレルギー等へのきめ細かな対応が評価されている。利用団体のニーズを把握するため、利用後のアンケート回収に努め、施設面や運用面での可能な限りの改善を実施している。	評 価
			A

(4) 施設関連情報の発信のための取組み

指定管理者の自己検証		県施設所管課の検証	
○定期的に施設利用状況やイベントをFacebook等のSNSでの情報発信を行った。 ○テレビのお天気フィラーで、生涯学習センターとともに施設紹介を行い、認知度アップに努めた。 ○他県のスポーツ・文化団体に施設利用案内書を定期的に送付するとともに、利用経験のある団体に対しては、お礼状送付や利用申込みを促すなど、施設利用の強化に努めた。		自主事業、チラシの県内小学校配布やホームページでのイベント情報案内等、施設利用に関する情報等を効果的に発信しており、評価できる。 利用団体へのお礼状送付や宿泊団体退所時に来年度の予定確認をするなど、再利用の促進を図っており、リピーターの確保にも努めている。	評 価
			A

【評価基準】

- S・・・仕様書等で示した基準以上の顕著な成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が特に認められるもの
- A・・・仕様書等で示した基準以上の成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が認められるもの
- B・・・仕様書等で示した基準と同程度の成果が挙げられているもの
- C・・・仕様書等で示した基準をおおむね満たしているが、一部工夫や改善を期待するもの



(5) 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

県施設所管課の総括
指定管理者制度導入後、利用者からはサービス面や柔軟性のある対応、食事のメニュー等においては、アンケートからの評価は高い。施設の維持管理や修繕を計画的に実施しており、利用者の安全性・快適性の確保に努めて、令和7年度の利用者数は前年度比34.4%増となっている。少子化が進行する中で利用者を増やしていくためには、引き続き好評である食事サービス等の対応に加え、老朽化した施設の維持管理を効果的にを行い、利用者への提供サービスの改善に務めるとともに、既存利用団体へのフォローをはじめ、法人等の社会人を含めた新規利用者の開拓にも力を入れていく必要がある。